

巡視船りしり・もとうらによる曳航・被曳航訓練

もとうらに曳航されるりしり



昨年12月12日、当部所属の巡視船りしり、巡視船もとうらによる曳航、被曳航訓練を実施しました。

本訓練は、機関故障等で航行不能となり、漂流している船舶を安全な場所まで引っ張るために必要な技術を磨く訓練です。

曳航訓練は1隻を自力航行不能な漂流船と想定し、もう1隻が救助船として、もやい銃を使用して曳航ロープを漂流船に渡し、引っ張ります。

また、被曳航訓練は漂流船側が曳航されるための訓練として、救助船から渡された曳航ロープを船体のピット等に巻きつける等引っ張られるための準備を行うものです。

当日はりしり、もとうら交互に救助船、漂流船としての訓練を行いました。

巡視船は、曳航救助を行う機会はもちろんですが、巡視船自体の機関が故障し、航行不能になることも考えられますので、引っ張る、引っ張られる両方を想定した訓練を行い、救助技術の向上に努めています。



もやい銃発射

日本最北の「118番」周知活動



稚内海上保安部では「118番」の周知活動として、1月18日（金）に稚内港北ふ頭に着岸中の巡視船りしりにてライトメールによる周知活動を、同20日（日）に休日の買い物客で賑わうショッピングセンター「西條稚内店」にて周知活動を行いました。

西條稚内店においては、1階特設会場に海保ブースを設置して各種ポスターの掲示、パンフレット及び啓発グッズの配布、灯台レンズの展示、うみまるとの記念撮影を行って来場者に「118番」をPRすると共に、適切な利用を呼びかけました。

パンフレット等を配布する際に、「海の緊急ダイヤル「118番」をご存知ですか？」と質問したところ、ご存知ない方が多く見受けられたことから、継続した周知活動の必要性を痛感した次第です。

本紙を読まれた皆様も、この機会に「海のものもは118番」をぜひ覚えていってください！！

ザ・もつともきた
最北のおつと
161号

海のものもは118番



海水情報センター
Ice Information Center JAPAN
Информационный Центр дрейфующих льдов

海水情報センターについて | 北海道の海

日本語 | ENGLISH | По-русски |

■トップページ ■海水観測情報 ■海水関係資料 ■サービス ■海水関係リンク集

■お知らせ
*2018年12月20日:今季の海水情報の提供を開始しました。

■最新の情報
*2019年1月20日:船舶等の海水観測報告を更新しました。NEW

最新の海水速報

海水情報提供中 ~ 海水情報センター開設 ~

第一管区海上保安本部では、オホーツク海など海水が発生する海域を航行する船舶の海難事故を防止するため、「海水情報センター」を昨年12月20日（木）に開所しました。同センターは航空機や巡視船及び海上保安部、協力機関から情報を収集し、海水の分布状況等の情報提供をしており、稚内海上保安部でも、航行中の巡視船や陸上から毎日観測を行っています。海水情報はホームページ [http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN1/1center.html] やファクシミリサービス（ポーリング受信方式）電話番号：0134-32-9301から入手可能で、毎日午後5時頃に新しい情報に更新されます。

冬季における船舶の管理について

雪害で係留中に転覆や沈没する船舶は2トン未満の漁船又はプレジャーボートが大多数で、これからの季節は、春に向け雪が溶けたり凍たりの繰り返し状態が続きますので、こまめに積雪の排除を行ないましょう。また、係留具も積雪に隠れるため目視で容易に点検ができなくなりますので、除雪を行って、状態を確認しましょう。特に長期間使用する予定がなかったり、係留場所から離れた場所に住んでいる方は十分に注意してください。

【対策として】

1. 船舶の陸揚げ、2. 船外機及び燃料タンク等重量物の取外し、3. 係留索は両舷から増し索を取る、4. 積雪の状況に応じてこまめに除雪する。なお、岸壁や船舶の除雪作業を行う場合には、必ず救命胴衣を着用し、複数人で作業をするようにしてください。また、岸壁などには雪庇ができており、さらに係留ピット、ロープ等が積雪により、見えなくなっています。これにつまずき、怪我又は海中転落しないように十分注意しましょう。



愛します・守ります・最北の海 〒097-0023 稚内市開運2丁目2番1号 (TEL・FAX 0162-22-0118)
 稚内海上保安部 ホームページ <http://www.kaiho.mlit.go.jp/01kanku/wakkanai/>
 職員募集・学校訪問・職場体験等お気軽にお問い合わせください!!

